



ヤブデマリ

1、バックホーによる作業－5(H地点他作業報告)

1) H地点

H地点は平成 29 年度に木の伐採が完了せず、平成 30 年度に残った部分の木の伐採とバックホーによる抜根を行いました。

右上写真は抜根前の状況で、奥に向かって高くなっています。左側には枯れたヌマガヤの群落が続き、手前の木道近くはネザサの群落になっていました。昨年の作業で左側にある木道沿いを中心に木の伐採を行いました。伐採後の変化は葦毛通信 No. 71 に掲載しています。

右下写真は抜根後の状況です。画面左側には礫が目立ち黒色土があり、水分が多く湿地に戻る部分と予想しています。画面右側は乾燥しており、明るい草地になると予想しています。

右側の森との境には、抜根した木の根や剥ぎ取ったネザサの根を下流側から上流に向けて高さ 1～2 m、長さ約 90m で土手状に積み上げています。これはイノシシの侵入を防ぐシシ垣として利用するためです。湿地の周囲全体を囲っているのではないので根本的な解決にはなりませんが、抜根した木の根の仮置き場としながら少しでもイノシシの侵入を防ぐことができればと思っています。

今年は雨が極端に少なく、東三河の水がめである宇連ダムも渇水で給水制限をしています。順調に雨が降っていれば、もう少し湿生植物の発芽も良好だったと思いますが、今春



H地点抜根作業前 (2019 年 2 月 26 日)



H地点抜根作業後 (2019 年 3 月 19 日)

は一の沢から三の沢も水が枯れてしまい、危機的な状態になっています。

右上写真はH地点を上流部から見たところです。バックホーがあるところは黄褐色礫層で、右側には黒色土層が見えます。手前は抜根前の状態で、地表面は木の根やコシダ、ネザサの根に覆われています。これらの根を剥ぎ取り、潰して土を振り落として埋土種子をできる限り現地に残しています。右側の木道近くは黒色土層があり、湿地に戻ると予想しています。

2) S地点（一の沢湿地）

S地点で今回抜根作業を行ったのは一の沢の西側にあたります。一の沢は、平成28年度に木の伐採を行い、平成29年度にバックホーで抜根を行いました。平成30年度には残っていた西側の木の抜根をバックホーで行いました。これで、一の沢湿地の植生回復作業は一段落です。

右中写真は一の沢西側の抜根前の状況です。画面中央には切り株からヒコバエが伸び、手前にはネザサの群落があります。

右下写真は抜根作業後の状況で、地表面には礫が目立つ裸地になっています。画面奥で右上から左下に向かって黒色土が見えますが、ここが一の沢で水が流れている部分です。この奥ではこれまでミミカキグサやシラタマホシクサ等の湿生植物が復活しています。



H地点バックホーによる抜根作業（2019年3月5日）



S地点抜根作業前（2019年3月4日）



S地点抜根作業後（2019年3月19日）

今回抜根を行ったところ
も同様に湿生植物が復活
すると予想しています。

3) T・U地点(二の沢)

二の沢は平成 27 年度に
木の伐採を行い、抜根は
行いませんでした。切り
株からはヒコバエが伸び
て見通しが悪くなって
いました。今回、バック
ホーで抜根を行いました。

右上写真はヒコバエの
刈り取りと除草を行い、
刈り取った草や枝を運び
出してバックホーが作業
できるように準備をして
いるところです。

右中写真は抜根作業前
の状況で手前にはネザサ
の大きな群落がありました。

右下写真は抜根後の状
況で、画面手前には大き
な礫が目立っています。
この場所は全体的にやや
高く乾燥しています。二
の沢の水は画面奥で一旦
地中に隠れ、写真より手
前のやや下あたりで水が
地表面に現れます。見え
ている部分は明るい草地
になる部分で、湿地と
して復元されるのは、奥
と手前の部分になると
予想しています。

画面手前右側では、サ
サユリやイワタカンア
オイ、シュロソウ等が見
られました。ネザサの根
を除去することにより一
旦衰退するかもしれませんが、
今後埋土種子から再生
していくと予想してい
ます。



T・U地点ヒコバエ等伐採処理作業 (2019 年 3 月 5 日)



T・U地点抜根作業前 (2019 年 3 月 6 日)



T・U地点抜根作業後 (2019 年 3 月 19 日)

4) L地点

L地点は平成26年度に間伐を行い明るい森に復元したところです。

明るくなることにより、ミカワバイケイソウやカザグルマ、ハンカイソウ等が増えました。しかし、ネザサも増えてしまいました。今回の作業は、D・E地点に接する北西側の一部の抜根とネザサの根の除去を行いました。

右上写真はバックホーで抜根した後にネザサの根の層を除去しているところです。画面手前右側に三の沢から続く水の流れがあります。手前中央から右に灰色土があり、その左側に黒色土があります。この部分が湿地に戻るところですが、灰色土の方が水分の多い環境になります。

右中写真は抜根作業前の状況です。画面奥から右下側にかけて三の沢が流れています。水の流れがあるところはイヌノハナヒゲやシラタマホシクサの群落になっています。画面左側はネザサの群落になっています。

右下写真は作業後の状況です。剥ぎ取ったネザサの根はその場で潰し埋土種子を含んだ黒色土を蒔き出してあります。右側の沢沿いにはイヌノハナヒゲやシラタマホシクサ等の湿生植物が多く復活してくると予想しています。



L地点抜根作業（2019年3月8日）



L地点抜根作業前（2019年3月8日）



L地点抜根作業後（2019年3月15日）